

平成○年度 ○○小学校 第6学年1組 学級経営案

担任名 ○○ ○○

在籍児童数

男子15人、女子14人、計29人

1 教育目標

- (1) 学校教育目標 ① 進んで学びよく考える子 ② 思いやりのありきまりを守る子
③ 心身ともに健康でたくましい子
- (2) 学級目標 ① 自ら学び、自ら考えて、思いや考えを積極的に表現しよう
② 学級の一員としての自覚をもち、友だちを思い、優しさを伝えよう
③ あきらめずに何度でもチャレンジしよう

2 学級の実態

5年生からの積み上げがあり、共通の目標に向かって前向きに取り組むことができる集団に育っている。相手の立場に立って考えることができる子どもが多く、最高学年として下級生の面倒をみながらリーダーシップをとることを期待して指導を継続していきたい。学習においては、自ら課題を明らかにして追究する学習経験をふまえて、一層表現力を高めることが学級全体の課題である。また、基礎的・基本的な内容の定着度について不十分な子どもが5人おり、定着のための工夫が必要である。リーダーが育ち、学級全体でチャレンジ精神が旺盛な学級である。

3 学級経営の方針

「元気、本気、根気」「チャンスにチャレンジ」をモットーに、子どもたちがもつ可能性を最大限に引き出し、伸ばす学級経営を目指す。学校生活のあらゆる場面で、自分の考えをもちながらも、友だちの意見を聞き、互いに高め合い、学級としての考えを質の高いものにしていけるよう指導を重ねる。最高学年として、行事も「自分たちが創る」という意識で取り組むことを支援する。

4 学級経営上の今年度の重点

(1) 教科指導

- 自ら課題を見つけ、追究する学習過程で授業を展開し、主体的な学習活動を保障する。
- 市内一斉の学力定着テストでは、子ども一人一人の設定目標を全てで上回ることができるよう指導する。
- 個々の学びの成果を集団で練り上げる活動を工夫し、生産的な学びの集団づくりを進める。

(2) 道徳、特別活動の指導

- 「行事は自分たちで創る」という意識をもたせ、全校をリードする喜びを味わわせる。
- 総合的な学習の時間や学校行事などの体験的な活動と関連させた道徳の授業を工夫する。

(3) 健康、安全の指導

- 生命と健康な生活の大切さを実感させ、「自分の身は自分で守る」という実践力を高める。
- 家庭との連携を一層密にしながら、自らよりよい生活を志向する態度を育てる。

(4) 生徒(生活)指導

- どんなことでも相談できる関係を維持しながら、発達段階に応じた指導を工夫する。
- 「本物体験」を中心に、職場体験や直接交流を通して、将来への展望を抱けるようにする。